

## 1 プロジェクト概要

【目的】  
 ・ごみに関わる環境問題の解決  
 ・安定的なごみ処理体制の構築

【実施期間】  
 2022年7月～2024年3月

## 【取組の方向性】

- 取組主体ごとに減量のターゲットとなるごみ種を設定
- 様々な媒体を活用してごみの4R運動を推進
- 市民の行動変容を促す新しい手法（企業連携・見える化等）を導入

主体	市民	事業者	市
ごみ種	食品ロス	古紙	プラスチック類
	古紙	食品ロス	古紙
	使い捨てプラスチック	一般廃棄物に混入している産業廃棄物	ペットボトル
	ペットボトル		

## 2 2022年度目標達成状況

【1人1日当たり家庭系ごみ排出量】(単位：g)

年度	2021	2022	2023
目標	—	626	620
実績	638	<b>617</b>	—

前年度実績比  
**21g** 削減  
 当初の2023年度目標を大幅に上回った。

【年間清掃工場搬入量】 (単位：万t)

年度	2021	2022	2023
目標	—	24.4	24.1
実績等	実績 24.5 推計 25.2※	<b>23.7</b>	—

前年度推計比  
**1.5万t** 削減  
 当初の2023年度目標を大幅に上回った。

※実績値に新型コロナウイルス感染症の影響により減少した一般廃棄物の量(0.7万t)を加えた数値

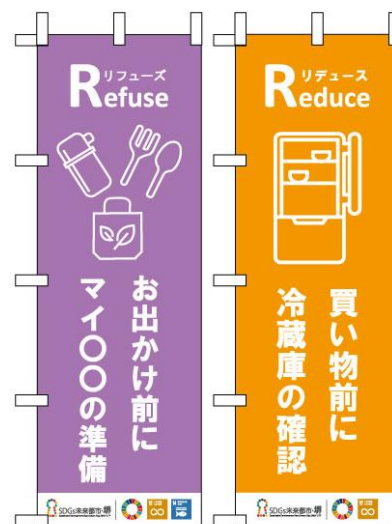
## 3 2022年度の取組実績

## 【プロジェクト周知の一例】



←『ゴルゴ13』とコラボレーションしたリーフレット

4R周知用のぼり旗→



## 【主な施策の効果検証結果】

## プラスチック製品回収実証事業

対象校区約600世帯で1か月間実証した結果、計1.6tのプラスチックごみを回収した。全市年間想定排出量は約900tと判明。

## 「その他の古紙」回収袋モニター事業

市全体の「雑誌・その他の古紙」の集団回収量が前年度比約6%減少する中、モニター団体では前年度同期比2.6%増加。

## ペットボトルの残渣率削減モデル校区実証実験

住居形態別に異なる啓発手法、指導方法を実施した結果、前年度比約3.0～18.5%削減。

## 4 2023年度の新目標

2022年度実績を踏まえ、新たな目標を設定。

指標	2022年度 (実績)	2023年度 (旧目標)	2023年度 (新目標)
1人1日当たり 家庭系ごみ排出量	617g	620g	<b>602g</b>
年間清掃工場 搬入量	23.7万t	24.1万t	<b>23.2万t</b>

1人1日当たり家庭系ごみ排出量 15g 削減 ※

年間清掃工場搬入量 0.5万t 削減

※引き続き「毎日ミニトマト約1個分」を減量目安として  
市民周知

## 優先課題

効果検証結果に基づき、優先課題を見直し、2023年度も新規施策を実施。

## 【家庭系ごみ】

- ・古紙のリサイクル強化
- ・ペットボトルの残渣率の削減
- ・大型ごみ等のリユース促進
- ・食品ロス・プラスチック類の削減

## 【事業系ごみ】

- ・古紙のリサイクル
- ・適正排出の徹底  
(産業廃棄物の混入防止)
- ・食品ロスの削減

## 5 2023年度の主な施策（新規・拡充施策のみ抜粋）

## 【プロジェクトの周知等】

- ・市ホームページで目標達成状況が見える化「ごみのダッシュボード」  
※Microsoft power BIを活用してリニューアル
- ・市内工事現場仮囲いに4R周知用パネルステッカーを掲示

## 【家庭系ごみ減量施策】

ごみ種	施策
古紙	・「その他の古紙」回収促進団体へ体験袋等の配布 ・古紙回収保管庫設置補助金の創設
PET	・ペットボトル残渣率削減の取組（全市拡大）
リユース	・「4RアクションDAY」の開催 子ども服のリユース等の参加型イベント ・粗大ごみリユース事業（本格実施）
食品ロス	・エコレシピコンテストの実施
プラスチック	・竹をアップサイクルしたコースターの作製・活用
その他	・「#堺4Rアイデア募集キャンペーン」の実施 市民等から実践例を公募し、ピクトグラム作成

## 【事業系ごみ減量施策】

ごみ種	施策
古紙	・事業系古紙の清掃工場搬入禁止（詳細別紙）
適正排出	・搬入物の検査強化 ・大規模建物所有者の排出状況調査の強化
食品ロス	・フードシェアリングアプリ「TABETE」の普及促進